

パラグアイ内政・外交報告（1月分）

政治情勢

2018年2月作成

1 内政

（1）司法への不正介入事件

昨年12月に発覚した司法への不正介入を示す電話録音流出事件に関して、11日、逮捕状が発出されていたフェルナンデス・リップマン元法務執政委員会書記が警察に出頭し、収監された。

（2）誘拐被害者の遺体発見

11日、パラグアイ国民軍（EPP）に誘拐されていたメノナイト系の被害者1名が遺体で発見された。検屍の結果、同被害者は2015年8月の誘拐直後に死亡していた模様。

（3）検察庁長官の不正蓄財疑惑

ア 17日、ディアス検察庁長官に対する不正蓄財の疑いによる弾劾裁判の申し立てが議会に提出された。23日、下院議会が臨時招集され、弾劾裁判の実施の是非を決する投票が行われたが、賛成票が過半数に至らず、弾劾裁判の実施は見送られた。

イ 22日、同検察庁長官は休職を申請し、アレホ・ベラ検事が検察庁長官代行に指名された。なお、昨年からの懸案となっている新検察庁長官の任命については、3月1日の通常議会再開後に審議が再開される見込み。

（4）閣僚の交代

22日、次期上院議員選挙及び同補欠議員選挙に立候補するため、バリオス厚生相及びリエラ教育相がそれぞれ辞任した。29日、後任として、モリニゴ厚生相（前厚生省専門病院局長）及びアギレラ教育相（前高等教育評価・認証機構理事長）が就任した。

（5）2018年総選挙立候補者登録の締切り

ア 31日、4月22日に実施される総選挙（大統領選挙、上下院議員選挙、県知事選挙、県議会議員選挙、メルコスール議会議員選挙）に向けた選挙裁判所への立候補者登録が締め切られた。大統領選挙には、アブド・ベニテス コロラド党候補、アレグレ勝利のための同盟（リベラル党（PLRA）・左派連合）候補等、計7名が立候補した。

イ 司法への不正介入疑惑により昨年12月に議員資格を剥奪されたゴンサレス・ダエル元上院議員は、コロラド党次期上院議員候補の拘束名簿順位第5位として立候補登録された。

2 外交

（1）ルゴ上院議長の台湾訪問

6日～11日にかけて、ルゴ上院議長（元大統領）を団長とする上院議員団が台湾を公式訪問した。8日、ルゴ上院議長は蔡英文總統を表敬。同總統は、本年2月に予定される経済協力協定の発効により、両国の経済・貿易関係が更に強化されることを確信している旨述べた。

(2) 水落文部科学省副大臣の当国訪問

10日、水落文科副大臣が当国を訪問し、リエラ教育相と会談し教育分野に関する意見交換を行った他、日本人学校の視察や日系社会教育関係者と懇談等を行った。

(3) パラグアイ・墨首脳会談

18日、カルテス大統領は、当国を訪問したペニャ・ニエト墨大統領と会談した。会談には双方の外相他が同席した。今次首脳会談の機会に、災害リスク、科学技術、奨学金、宇宙の平和利用等に関する5つの合意文書に署名がなされた。

(4) ロイサガ外相のリマ・グループ会合出席

23日、ロイサガ外相は、チリで開催されたベネズエラ情勢に関する第4回リマ・グループ会合に出席した。会合の結果、ベネズエラ政府による本年4月までの大統領選挙実施の決定を拒絶する旨の共同宣言が署名された。

(5) ロイサガ外相のブリュッセル訪問

29日、ベルギー ブリュッセルを訪問したロイサガ外相がモグリーニEU外務・安全保障政策上級代表と会談した。また、同外相は、メルコスール・EU間のFTA締結交渉に参加した。

3 要人往来

(1) 来訪

- ペニャ・ニエト墨大統領（公式訪問）
- 水落文部科学省副大臣

(2) 往訪

- ルゴ上院議長他、台湾訪問（上院議員団公式訪問）
- アレグレ リベラル党党首（次期大統領候補）、韓国訪問（企業視察）
- メディナ農牧相、独訪問（食料・農業グローバルフォーラム）
- ソサ労働相、日本、韓国、スペイン訪問
- ロイサガ外相、チリ訪問（第4回リマ・グループ会合）
- レイテ商工相、伯訪問（商業ミッション）
- ロイサガ外相、ベルギー訪問（メルコスール・EU FTA 締結交渉）